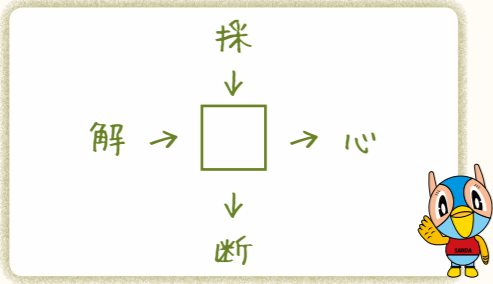




キッピーファミリーとあそぼ

□に入る漢字は何かな？



応募者の中から抽選で3人に三田市特製キッピーストラップまたは、小さなぬいぐるみを進呈します。
 答えの漢字とその理由、お名前(ペンネーム)、ご住所、性別、年齢、「つなぐ」を読まれた感想を明記の上、7月22日(金) 必着で以下のいずれかにお送りください。

📧 送り先 📧
 ✉️ gikai_u@city.sanda.lg.jp FAX 079-564-2992

プレゼント当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
 ・個人情報厳重に管理・保護いたします。
 ・いただいたご意見、ご感想を掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

前回の答 7/7 ヒント 引き算と足し算の組み合わせ

～皆さんの相談を受けています～

次回市政相談は 8月1日(月)です。

- 【相談場所】 市役所6階 委員会室
 - 【相談時間】 午後1時から午後4時まで
1人につき50分
 - 【申し込み】 議会事務局 電話予約 559-5162
- 9月以降の市政相談は改選のため未定です

ネットDEつなぐ 8月15日更新!



「つなぐ」のネット版は市ホームページ、議会のメニューからご覧ください。

【お詫び】 6月号「議会報告会：広野市民センター」の掲載内容の中で一部誤解を招くような文言がありましたことを深くお詫び申し上げます。

議会ヒストリ vol.13

救急体制と交通等生活基盤整備事業

昭和58年12月定例会では、市民病院と救急医療体制の問題、急患の3分の1が市外に搬送されている現状と対応について質問があった。市長は兵庫中央病院と救急体制の協力等について協議するとともに、市民病院と市内医師による夜間救急体制を確立する必要がある、120床の市民病院を人口増加にあわせて300床くらいに拡張し総合病院にしていきたいと述べた。

また、生活基盤整備事業が急速に進捗する市内は当時工事箇所が大変多く、交通渋滞の苦情が市議会でも取り上げられており、特に道路網整備の質問が次々出された。市長と市当局は整備状況や見通しを各路線ごとに説明し、都市計画の拡大変更を行う必要が出てくると述べた。



表紙紹介

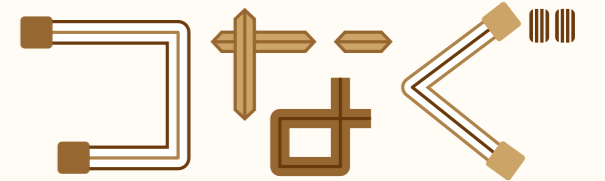
～フラワータウン駅前～

駅前にあるサンフラワービル横の歩道橋から市民センター方向を見た風景です。日差しも強くなり帽子などが必要になってきました。熱中症にはくれぐれもお気をつけください。

広野りおさんのホームページ <http://punchdrops.com/>

あらゆる人と共に…

7月号
2016
vol.137



一般質問\ 6月定例会の結果\ 政務活動費



© 広野りおさん

三田市議会だより つなぐ 2016.7 vol.137
 〒669-1595 三田市三輪2-1-1 TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992
 ✉️ gikai_u@city.sanda.lg.jp
 市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

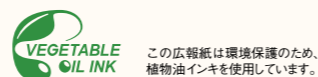
<http://www.city.sanda.lg.jp/shiseijouhou/gikai>



議会広報委員会
 [委員長] 西上俊彦 [副委員長] 長尾明憲
 [委員] 多宮健二 大西雅子 田中秀典
 [議会事務局] 山口玲子 今井和範

編集後記

暑い日が続きますが皆様はどのように節電対策されていますか？
 エアコンを休ませている間、昔ながらの智慧で「打ち水」の涼しい風を感じてはいかがでしょうか。



16 議8-042 A4

スマホで動画「COCOAR2 ココアル2」臨場感をもっと身近に。



<ダウンロードの方法>
 iPhone = 「AppStore」 Android = 「Google Play」で「cocoar2」と検索。
 インストール後アプリを起動し、表紙イラストにしばらくかざすと動画が流れます。
 ※機種、通信環境によって動作が遅くなったり、作動しない場合があります。



SANDA CITY COUNCIL

質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度など、市のあらゆる事業、方針について議員が質問する中で、主張・提言・指摘します。市の重要な施策の決定を、この本会議で行っています。

6月定例会は個人質問のみです。質問時間は答弁とあわせて40分です。

三田市議会会議録
三田市議会インターネット中継
検索

坂本 三郎 議員

市民の会



教育

特別支援学校に必要な環境・設備、人的配置を

議員 国の障害者差別解消法に則り条例を早急に制定すべきと考えるが、市の見解は。また、昨年開校したひまわり特別支援学校の児童・生徒に、合理的配慮は行われているのか。学校が子どもの命を預かる以上必要な環境や設備、人的配慮をすることが必要では。

市 合理的配慮の提供・障害理解を促進する

障害者差別解消法に基づき、市では対応要領を整備し、市立幼稚園・小中学校・特別支援学校でも取り組みを実施している。条例制定については、法の趣旨を踏まえ検討する。(森市長)
ひまわり特別支援学校については、課題を整理し、県立特別支援学校や他市の状況等も研究しながら充実に努める。(鹿嶽教育長)

他の質問 ● 人権問題に対する市当局、市教育委員会の見解について

美藤 和広 議員

市民の会



まちづくり

学生や働く若者が住みたいまち・三田を

議員 約6千人が大学等に通っているのに、三田は通過点。三田に働く若者は三田市外で賃貸生活。市民にも協力してもらい、第二の故郷となるよう、定住策を講じるべきだと思う。

市 若者参加で若者に魅力あるまちをめざす

若者には、働く場所・住む場所・賑わいのある場所で魅力に欠けている。総合戦略の中で「地域に元気を」では、学生にアンケートや提言から、アイデアやエネルギーを活かした地域活動や各種活動で、三田の魅力に触れ、地域との絆を育むことで、U I J ターンや市内への定着を図る。(森市長)

他の質問 ● 働き続けるための対策 ● 大災害への備え



* U I J ターン：都市から地方へ移住する現象。Uターンは都会から生まれ故郷へ、Iターンは地方へ移り住むこと。Jターンは出生地に近い街へ戻ること。

檜田 充 議員

市民の会



教育

結果として「給付型」となる奨学金の創設を

議員 本市において、市より経済的支援を受けている児童・生徒は652人で7.3%に達している。卒業後、本市に居住する等の要件を付し、クリアした際には返還を免除することにより、結果として「給付型」となる奨学金を創設してはどうか。

市 提案の奨学金も含め貧困対策について研究を進める

市として、貸与型の奨学金制度を設けており、本年より専修学校へも枠を拡大した。子どもの貧困対策について、提案の奨学金も含め、国・県や他市の状況を踏まえながら様々な側面より、本市における実施に向け研究を進める。(森市長)

他の質問 ● 学校規模・配置の適正化 ● 学校現場のICT化推進状況及び展開 ● 公契約条例制定

福田 秀章 議員

盟政会



まちづくり

カルチャータウン地区センターの整備について

議員 市長は今年の政策に学生が集う街を掲げられているが、大学生が集う場所が必要ではないか。学生が集う場所として地区センター施設の設置についてどう考えているのか。

市 大学生が集う場所づくりと地区センター施設の開発について

大学生が集う場所づくりは必要なものと考えており、大学並びに地域住民の皆様と連携して検討を進める。また、施設の開発については、県企業庁、北摂コミュニティ開発センター、市の三者で「カルチャータウン地区センター基本計画策定委員会」を設け協議を進めている。(森市長)

他の質問 ● 高齢者の徘徊対策 ● 第4次三田市農業基本計画の策定 ● 公園駐車場の適正利用

長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



子育て

産後うつ対策の充実を

議員 東京都での調査結果では、産後の自殺原因で最も多かったのが産後うつであったことがわかった。現在市でも様々な取組を行っているが、特に母親の産後ケアの充実を求める。母親の検診回数増や体制の整備は。

市 妊娠期からの切れ目のない支援に取り組む

検診回数増は考えていないが、10月から試行する三田版ネウボラで専任の保健師を配置し、妊娠初期からの面談や関係機関との連携等の体制強化を図り、継続的に支える体制づくりを行う。(西本健康福祉部長)

他の質問 ● 乳幼児健診の充実 ● 避難所の開設



* ネウボラ：フィンランドで生まれた、妊娠期から就学前にかけての子ども家族を対象とする支援制度

佐貫 尚子 議員

新政みらい・維新



教育

サポートファイルの活用について

議員 障害を持ち支援が必要とする児童生徒に対して、サポートファイルがあるが、一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を克服し、合理的配慮や支援の在り方に十分に活用されているのか。

市 子どもや保護者の不安を軽減

サポートファイルを活用することで、福祉・医療等との連携も含めた情報を引き継ぎ、就学前から高校入学時等まで継続した支援ができるようになり、新しい生活に対する子どもや保護者の不安軽減につながっている。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ● 400メートル陸上トラックの整備 ● 権利擁護専門相談会等の周知方法



* サポートファイル： 集団生活や学習活動等で支援が必要な子どもが、幼稚園や学校等での生活を円滑にスタートするためのツールとして保護者・学校園所・保険療育機関等と一緒に作成するもの

長谷川 美樹 議員

日本共産党三田市議団



福祉

制度の狭間での社会的孤立をなくすために

議員 失業・ひきこもり等で社会的孤立の市内実例を示し、実情把握の「入口」と解決への「出口」対応、及びセーフティネットの仕組みづくりについて質問する。地域での「気づき」「SOS発信」ができるように、また食料・衣服・住居の緊急セーフティネットの仕組みづくりを求めるが。

市 地域と共にセーフティネット構築に取り組んでいく

市の権利擁護・成年後見支援センターが、地域の皆様の気づきを大切に、地域と共に「心配な方」への見守りをしていくセーフティネット構築に取り組む。(西本健康福祉部長)

他の質問 ● 市契約の適正な労働条件確保 ● 正規職員の増員



* セーフティネット： 病気、事故、失業等で困窮した場合に、救済し保護する仕組みのこと。

中田 初美 議員

日本共産党三田市議団



福祉

「地域福祉支援員」の複数配置と待遇改善を

議員 市では「ふれあい活動推進協議会」と「地域福祉支援員」が協働で地域福祉を担っているが、1名配置では求められる課題には十分対応できず、体制強化は欠かせない。また、嘱託職員であるというのいがかが。

市 地域福祉支援員への必要な支援を行う

地域福祉を支える地域福祉支援員には、地域へ出向く機動力、担い手発掘・育成ができる資質・技術が求められる。その役割が発揮できるよう、人材・体制の確保については社協に働きかけを行い、市も必要な支援を行う。(西本健康福祉部長)

他の質問 ●障がい者施策の充実 ●地域福祉の推進

北本 節代 議員

無党派



医療

安心・納得・あたたかい心のこもった医療の提供を

議員 市民病院において救急での受診の際、当直医が担当の診療外であるという理由で診察ができず、市外の病院で受診となった等の市民からの声を聞いている。地域住民の支えとなる地域の中核病院として、市民の救急に応えるべく対応が必要であり、適切に判断ができる医師・看護師の配置をすべきでは。

市 「地域中核急性期病院」として救急医療の充実に取り組む

三田市民病院の休日の救急体制は、内科系医師1名、外科系医師1名による当直体制で強化に努めている。救急患者受入体制については、「断らない救急医療」をスローガンに職員一丸となって取り組んでいる。

議員ご指摘の案件については、十分な対応や説明ができていたのか内容をよく精査し今後活かしていきたい。(中畑病院副事業管理者)

他の質問 ●災害時の弱者支援 ●教育に関する諸問題

西上 俊彦 議員

市民の会



教育

部活動の現状、今後のあり方について

議員 中学校における部活動は生徒の豊かな人間性の育成に大きな役割を果たしている。生徒数の減少により部活動数が減少している中、部活動の現状、また、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

市 部活動に関する検討委員会を設置

部活動については「学校教育の一環」として位置付けており、スポーツや文化等に親しむことで、学習意欲の向上や責任感、連帯感を育み「生きる力」の育成に意義を有するものと認識している。現在、検討委員会を設置して部活動の在り方や運営方法等についての検討を進めている。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ●防災について ●クリーンセンターについて

田中 秀典 議員

盟政会



交通安全

子どもたちの命を守る交通安全対策を最優先に

議員 登下校における通学路の安全対策として、学校周辺にスクールゾーン設置を。また、学校から離れた場所においても、歩道がない通学路にグリーンベルト舗装を。これらの整備状況と今後の取り組みを伺う。

市 関係機関と連携し通学路の安全確保に取り組む

現在、三田市通学路交通安全プログラムに基づき、各学校からの報告を受け、県や市の道路管理者、警察、交通安全協会などと協議するとともに合同点検を実施し、安全対策を行っている。

グリーンベルト舗装については、3カ年で15カ所に舗装を行った。今後も関係機関と連携しながら安全確保に向けて取り組む。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ●自治区・自治会について ●まちづくり協働センターについて ●三田青磁・三田焼と陶芸施設について ●地域防災

田中 一良 議員

新政みらい・維新



防災

指定避難所等のトイレを洋式便器にすべき

議員 指定避難所の1つである城山公園グランド横にあるトイレや体育館などのトイレを、避難時にお年寄りから子どもまで全ての人が使いやすいよう、洋式便器を増やすべきではないか。

市 利用者サービスの観点から整備を検討

このような施設は、災害時というよりも、普段から多くの方が使用されるものであり、利用者サービスの観点から使用される方に配慮した改修・整備を進める為検討する。(浮田危機管理監)

他の質問 ●シティセールスについて ●街路樹の老朽化

大西 雅子 議員

公明党



福祉

弱視者に対する知識普及と自立支援について

議員 弱視者は、視覚機能が低下し回復しない人のことである。中途障害の場合が多い。また弱視者のケアは広く周知されていない。今後弱視力となる中途障害の知識を広めることや自立を促すための支援内容の情報入手が円滑に進められる体制づくりが大事ではないか。

市 弱視者に対する理解促進を図っていく

全盲と異なり身体障害者手帳の取得に至らない場合もあり、専門的な機関につながり難しく、十分な支援ができていないのが現状。今年11月には三田市で、初めてのロービジョンフェアを実施し、今後、積極的に関わり、理解促進を図る。(西本健康福祉部長)

他の質問 ●電気による火災を減らす対策 ●子育て支援

平野 管子 議員

公明党



子育て

三田版ネウボラの支援体制について

議員 これまでから提言してきた、妊娠から子育てまでの切れ目のない支援センターが10月に開設となる。相談者一人一人に寄り添う相談体制としてどのように考えているのか。

市 親子カルテを作成しきめ細かい支援を実施

総合的相談支援をワンストップで行うため、以前から提案があった親子カルテを活用し、全妊産婦・乳幼児を継続的に把握していく。

関連機関とサポートプランを策定し、きめ細かい支援も実施していく。ハイリスクがある場合は、関係機関で個別支援会議を開催し見守りを行う。(森市長)

他の質問 ●生活困窮者への食品支援 ●防災の取り組み ●太陽光パネル設置の開発について

厚地 弘行 議員

新政みらい・維新



防犯

防犯カメラの設置について

議員 市は防犯協会と自治会を通じて設置しているが広がっていない。犯罪の抑止効果は高く、千単位で設置する市が出てきている。市が主体的に設置すべきと考える。

市 早急に通学路への設置などを検討

現在は18基の設置であり、駅周辺は設置完了見込みである。更なる安全確保を図るために、地域活動を補完する形でもっと積極的に取り組んでいきたい。通学路に市が設置することを含め必要に応じて行いたい、そのための規模や手法を早急に検討する。(森市長)

他の質問 ●犯罪被害者への救済・支援 ●つつじが丘の地区計画の変更について

DIGEST 平成28年 6月定例会の結果

議員数=22名 表決参加議員数=21名 ※議長は表決には加わりません。
赤字=議員が提出した議案 その他=市長提出議案

〈6月3日～6月23日/会期21日間〉 6月定例会には市長提出議案17件が提出されました。また委員会提出議案1件、決議案1件、意見書案1件、請願5件、陳情1件についても審議しました。(陳情は採択しません)

議案第45号 平成28年度三田市一般会計補正予算について

中央公民館の市民センター化に伴う予算組替、高齢者施設整備費など9,459万3千円の増額補正を行おうとするもの。

議案第52号 三田市市民センター条例の一部を改正する条例の制定について

三田市中央公民館を市民センターとするにあたり、当該条例の一部を改正しようとするもの。



反対 可決に 賛成

【日本共産党三田市議団】
長尾、長谷川、國永、中田

【市民の会】西上、美藤、檜田、坂本、家代岡
【新政みらい・維新】多宮、佐貴、田中(一)、厚地
【公明党】大西、平野
【盟政会】田中(秀)、森本、福田、今北
【無党派】北本、前中

議案第45号、議案第52号反対討論

公民館は社会教育法の下で、講座の開設、講習会の開催等を行うとともに、多様な学習機会の提供に努めるもの。一方、市民センターの目的は、市民の自主的、主体的な学習及び文化活動並びに市民相互の多様な交流促進を図るというように、その目的が異なる。

文化スポーツ課が司令塔となり全市民センターを通して全市民的に社会教育を推進していくとあるが、現行の市民センターの下で、それらが十分担保できるという法的保障はないので反対。

(日本共産党三田市議団 國永 紀子)

議案第45号、議案第52号賛成討論

近年の公民館に対しては、社会情勢や利用者のニーズも変化する中で、地域住民全体が気軽に集い、学び、交流し合えるなどのサービスを総合的に提供する拠点としての機能を果たすことが期待されている。

また、社会教育の担い手も、民間事業者等を含め非常に多様化している。そうした意味で、中央公民館を市民センター化しようとする本議案は、公民館の今後の方向性の推進にかなった提案であると考え。所管課が事務を引き継ぎ、事業を継続し実施するための根拠は担保されているので賛成。(新政みらい・維新 田中 一良)

全議員が賛成した議案等(承認、可決、同意、採択)

報告 専決処分事項の報告及びこれの承認を求めることについて(三田市市税条例等の一部を改正する条例の制定) など3件

条例 三田市議会議員及び三田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例の制定 など8件

その他 市道路線の認定について
三田市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例
総合戦略特別委員会の調査事項に関する決議 など3件
人事案件3件 意見書案1件 請願1件

議案内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

請願第16号 後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の維持、継続と、保険料の引き下げを求める請願書

後期高齢者医療保険料の軽減特例措置を維持、継続するとともに国の公費負担率の引き上げ、財政安定化基金の活用などで保険料の引き下げを求める請願

反対 採択に 賛成

【市民の会】西上、美藤、檜田、坂本、家代岡
【新政みらい・維新】多宮、佐貴、田中(一)、厚地
【公明党】大西、平野
【盟政会】田中(秀)、森本、福田、今北
【無党派】北本、前中

【日本共産党三田市議団】
長尾、長谷川、國永、中田



請願第16号反対討論

保険料の軽減特例措置の維持、継続や国の公費負担率の引き下げについては、既に兵庫県後期高齢者医療広域連合や全国後期高齢者医療広域連合協議会から、国に対して要望活動が行われており、今後も、必要な要望等を行っていくべきである。

また、保険料の改定については、後期高齢者医療制度を維持、継続していくためには、適切な個人負担が必要であり、状況の変化等に対応した検討が慎重に行われるべきものであることから、保険料の引き下げについては反対。(市民の会 家代岡 桂子)

請願第16号賛成討論

兵庫県広域連合の被保険者約69万人のうち、「保険料軽減措置」の対象者は9割軽減、8・5割軽減の対象者、後期高齢者になるまで扶養者だった方などをいれると約36万人で、実に52%の方たちが特例措置を受けている。

そのため、兵庫県広域連合において連合会会長名で、全国後期高齢者広域連合協議会も国に対し、国の負担による現行の特例措置を維持、継続されたいと要望されている。

また近隣市でも維持、継続を求める請願が採択されており三田市議会としても採択すべきであり賛成。

(日本共産党三田市議団 國永 紀子)

請願第17号 消費税10%増税の中止を求める意見書提出を求める請願書

請願第18号 国に対し「消費税増税の中止を求める意見書」の提出を求める請願書

請願第20号 消費税10%への増税の中止を求める請願書

「消費税を10%にしない」意見書を政府に提出することを求める請願

反対 採択に 賛成

【市民の会】西上、美藤、檜田、坂本、家代岡
【新政みらい・維新】多宮、佐貴、田中(一)、厚地
【公明党】大西、平野
【盟政会】田中(秀)、森本、福田、今北
【無党派】北本、前中

【日本共産党三田市議団】
長尾、長谷川、國永、中田



請願第17号、18号、20号反対討論

消費税については、国の基幹税として定着している。国の財政の再建、社会保障制度の維持、地方分権のための安定財源などの観点から、消費税への期待は大変大きいと考える。

我が国の将来における社会保障の充実をはじめ、誰もが安心して暮らせる社会の実現などを考えると、消費税10%増税が延期されたが、今後も増えていく社会保障費を国民全体で支えることができる仕組みとして、消費税は大変重要な制度であるので反対。

(市民の会 家代岡 桂子)

請願第17号、18号、20号賛成討論

市民の暮らしの実態は、年金は下がる一方、物価や医療、介護の負担は増える。若い人も正規の仕事がなく、派遣を余儀なくされている。8%の税率でも大変という声が返ってくる中、2年半増税を延期したところで国民の暮らしが良くなる保障はない。

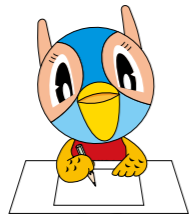
消費税10%増税をきっぱり中止し、税金は、大企業や、アベノミクスで最大の恩恵を被っている富裕層に、応分の負担を求める税制改革を実行し、暮らしを支える財源、社会保障の充実の財源をつくるべきであるので賛成。(日本共産党三田市議団 國永 紀子)

政務活動費 使用実績

政務活動費とは、地方自治法に基づいて、市議会議員が政策の調査や研究のために必要な経費として、使うことができます。他市の先進的な取り組み事例を研究して市政に活かす行政視察や、研究資料の作成費など多岐に渡って活用されています。金額は市長の附属機関である報酬審議会で決定されています。

$$\text{交付の内訳 (1会派あたり)} = \text{月額}60,000\text{円} \times \text{所属議員数} \times 12\text{か月}$$

ただし、会派統合等の理由により、年度途中で所属議員数の変更が生じているため、これを反映し、市長に報告したものが下表です。交付額は市から支出された金額で、支出額合計は会派が支出した合計額です。残額は市に返還されます。支出額が交付額を超える分は会派の負担となります。



研究研修費…研究会、研修会を開催するため又は他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費
(例) 会場費、講師謝金、出席者負担金・会費、交通費、旅費、宿泊費等

調査旅費…先進地調査又は現地調査に要する経費
(例) 交通費、旅費、宿泊費等

資料作成費…資料の作成に要する経費
(例) 文具等消耗品費、印刷製本費、翻訳料等

資料購入費…図書、資料等の購入に要する経費
(例) 書籍・資料購入費等

広報広聴費…市民の要望、意見を聞くための会議等に要する経費
(例) 会場費、印刷費、機材借上費等

備品費…備品の購入及び管理に要する経費
(例) ロックカー、印刷機購入等

通信運搬費…通信運搬に要する経費
(例) 電話料、ガソリン代、郵便料等

事務所費…庁内の会派室で行う調査研究のために必要な物品の購入や維持管理に要する経費
(例) 事務用品、機器のリース代等



(単位：円)

会派名	※構成人数	交付額	研究研修費	調査旅費	資料作成費
市民の会	5	3,600,000	933,772	893,115	322,441
新政みらい・維新	4	2,760,000	693,344	443,590	94,550
日本共産党三田市議団	4	2,640,000	647,712	154,360	18,621
盟政会	4	2,640,000	0	1,275,287	204,054
公明党	3	2,160,000	305,678	364,870	40,357
無会派の会 (10月～3月)	2	840,000	157,680	0	129,793
無会派① (8月～9月)	1	120,000	0	0	8,118
無会派② (4月～9月)	1	360,000	36,620	0	1,073
無会派③ (6月～9月)	1	240,000	0	0	0

資料購入費	広報広聴費	備品費	通信運搬費	事務所費	支出合計
345,099	0	175,512	716,009	175,140	3,561,088
379,419	0	231,200	217,719	327,463	2,387,285
147,304	1,121,960	40,714	218,731	392,254	2,741,656
320,212	0	238,850	501,117	0	2,539,520
165,614	0	0	369,579	217,771	1,463,869
199,684	0	204,128	127,547	0	818,832
0	0	98,375	11,516	0	118,009
120,889	0	0	69,835	0	228,417
117,955	0	82,476	38,612	0	239,043

※会派構成人数は平成27年度末時点の数です。(市長選挙、市議会議員補欠選挙等により、年度途中で会派の構成人数に異動が生じています。)

領収書を含む支出報告書等は、すべて議会事務局で保管していますので、どなたでも閲覧いただけます。
お問合せ：議会事務局 559-5162

行政視察に行きました

全国の自治体や民間団体、施設などの先進的な事業や取り組みを視察しています。三田市政に活かすヒントを得るため、各委員会単位で行っています。

経営管理政策常任委員会

5月18日 静岡県静岡市

▶内部統制、オープンデータの取り組み

静岡市で行っている内部統制チェックリストは三田市でも導入が可能。オープンデータの活用は市民の利便性向上のために前向きに検討すべきと感じた。

5月19日 静岡県御殿場市

▶地域防災の取り組み

陸上自衛隊の演習場がある御殿場市。危機管理監に元自衛官を起用し市民や市職員の防災意識を高めている。防災計画の策定、体制の整備、職員、市民の意識向上は大変参考になった。



説明
*オープンデータ：インターネット等で誰でも入手、利用等ができるデータのこと。

議会運営委員会

5月23日 神奈川県横須賀市

▶一般質問等

一問一答方式では、同じ会派から質問等を支援する補助者を1名置くことができる。質問によっては、補助者を置くほうが良い場合もあるので三田市でも検討したい。

5月24日 神奈川県相模原市

▶市議会ホームページ等

ホームページの充実に向け、フェイスブックとの連動や市民ニーズの反映、より早い情報公開を行うなど、順調に閲覧者を伸ばしていた。本市で、同様の取り組みを行うには工夫が必要であると感じた。



福祉教育常任委員会

5月12日 愛知県田原市

▶アウトリーチ支援事業

家庭教育支援チームの訪問を受け入れる家庭が少ないのが実態であり、家庭訪問型支援の難しさを改めて感じた。今後研究を進めていく必要があると考える。

5月13日 愛知県安城市

▶地域包括ケアシステム

システムの構築には、市・社協がコーディネーター役を配置するなどの体制強化が必要だと感じた。課題の見える有意義な視察だった。



説明
*アウトリーチ：公的機関、公共的文化施設等が行う、地域への出張サービス。
*家庭教育支援チーム：すべての親が安心して子育てや家庭学習ができるよう、地域の子育て経験者や民生委員等で構成するサポート組織

広報委員会

5月23日 埼玉県所沢市

▶議会広報

記事について、文字を詰め込んだ紙面ではなく、あえて余白を多くし見やすさを意識した構成だった。今後は視点を変え、更に工夫を重ねるなど読みやすい広報誌を追及したい。

5月24日 東京都あきる野市

▶議会広報

市民アンケートにより市民の求める内容を確認し、より読みやすくリニューアルされていた。アンケートの実施は重要だと感じた。



生活地域振興常任委員会

5月11日 福井県福井市

▶空き家対策

空き家の増加、老朽化問題の解決には、循環利活用が大切。その対策として、空き家バンクを設け、市民に空き家物件の情報を公開することは効果があると感じた。

5月12日 石川県金沢市

▶学生のまちを進める施策について

交流館はコーディネーターが常駐し交流を支援。学生組織の学生会議が多様な企画を実施。学生のまちとして伝統を継承し発展させたまちづくりは参考になった。



議会改革推進会議

5月9日 北海道江別市

▶議会改革の取り組み

市民に近い開かれた議会を目指し、丁寧に議会報告会を開催されていた。三田市においてもより多くの市民が参加できる仕組みづくりが必要だと感じた。

5月10日 北海道夕張郡栗山町

▶先進的な取り組みと課題

議会報告会はテーマを決めて開催され、平成27年3月の参加者数は226名であった。また、4年に一度は条例の目的が達成されているかを議会運営委員会で検討されていた。

